

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|----------------|---------------|----------------|--------|----------------|
| ○事業所名 | サポートセンターはるかぜ | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和 7年 12月 15日 | | ～ | 令和 7年 12月 24日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 児発：23人 放デイ：18人 | (回答者数) | 児発：19人 放デイ：17人 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和 7年 12月 15日 | | ～ | 令和 7年 12月 24日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 8人 | (回答者数) | 8人 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和 8年 1月 30日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|--|
| 1 | 比較的少人数の児童の支援を、複数の支援員で、手厚く、細やかにしている。 | それぞれの児童の特性について、職員ミーティングなどで意見交換し、対策方法などを考え、積極的に支援を行っている。 | 児発管と支援員間でさらなる情報交換を行い、支援の方法なども考えながら、それぞれの子どもたちにあった支援を行っていく。 |
| 2 | 保護者同士の親睦が深まるような支援 | 児童のお迎えのときに、短時間ではあるが園庭を開放し、保護者の方向士が交流できる場を確保している。 また、年に1回、公民館をお借りして、保護者と児童が参加できるイベントを開催し、保護者同士の親睦にも繋げている。 | 次年度においても、保護者の方の要望なども踏まえて、さらに保護者の方向士が情報交換できるような取り組みを計画していきたい。 |
| 3 | | | |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 人数が多いクラスなど、活動内容によっては、なかなか広いスペースが取れないことがある。（特に天候の悪い日など） | 広い園庭があるが、雨天の日や、夏の暑い日、冬の寒い日などは指導訓練室内での活動になってしまう。 | 現在も、夏には、園庭にサンシェードやミストを導入するなどしているが、暑さや寒さをしのぎながら外で活動できるようなプログラムや、環境整備を工夫していく。 |
| 2 | 放課後等デイサービスについては、2年生までしか行ってないため、3年生以上の支援を行って欲しいという声がある。 | 定員が10名のため、なかなか2年生以降の支援を継続して行っていくことが難しい状況である。 | ご利用者様のニーズなどもお伺いしながら、3年生以上の支援についても、今後検討してまいります。 |
| 3 | | | |